

広臨技ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>  
 (i-mode用 <http://www.hiroringi.or.jp/i/>)

## 広臨技会長就任のご挨拶

 社団法人 広島県臨床検査技師会  
 会長 板羽 秀之

本会は、私が生まれる前の昭和25年12月9日に、広島市内の18人の技術者が集まり、広島市衛生技術員会を設立されました。昭和33年に衛生検査技師法、昭和45年に臨床検査技師法が成立し、時代の要請に応えつつ会は成長発展してきました。諸先輩の努力により、現在では1,400人を超す会員が所属しており、中国・四国地区技師会では最大規模の会となりました。

私は、昭和51年に入会しましてから、会員の皆様のご支援を得て、広臨技において理事、常務理事、事務局長、学術・組織調査担当副会長の職責を経験させて頂きました。その間は、総務担当として会員管理システムの構築を行い、諸手続きの簡素化、発送業務の迅速・省力化を進めてきました。

平成3年の技師会法人化では、臨床検査が県民の社会的に認知を高めるためにも、全員一丸となって、会の改革を進めてきました。この想いはこれからも変わることなく、会員諸氏のご支援を得てさらに深めて行きたいと思っています。

技師会活動の目的は、臨床検査の担い手として知識と技術の研鑽に励み、県民の医療及び公衆衛生の向上に貢献する「広臨技倫理綱領」の実践にあります。この目的達成のためにも、研修会の開催、公共団体が行う地域保健事業への協力、検査データの標準化等の事業を展開して、県民の健康保持増進に寄与できるように、私は一生懸命に邁進していきます。先輩達が築いてきた技師会の名誉を汚さないためにも、責任の重大性を感じ、これまでの経験を生かして、そして会員一人ひとりのご協力を得て、今まで手がけてきましたことを更に発展させる覚悟でありますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 臨床に役立つ臨床検査技師教育

臨床検査技師がICT、NST、CRCなどチーム医療に参画する機会が多くなり、施設において臨床検査技師の必要性が高まりつつあります。臨床をサポートできる臨床検査技師を育成するために生涯教育の充実、検査研究部門の円滑な運営により学術的成果をあげます。

### 2. 臨床検査技師の地位向上

認定技師制度も資格取得者が増えてきており、施設や技師会で活躍できるように、より充実させて地位向上を目指します。また、学位取得者や4年制を卒業する会員も多く、社会的に認知された地位の確立を推進します。

### 3. 精度管理、標準化、検査データの共有化

行政及び関連団体と連携強化を図り、精度管理調査を推進し、県内での検査データの標準化、基準値の統一化を行い、地域医療に貢献します。

### 4. 他職種との協同

チーム医療を推進するためにも、放射線技師会、作業療法士会等の関連団体と連携を務め、医療スタッフとしての協力体制を整えます。

### 5. 組織強化

各地区との連携による組織強化推進と財政基盤の安定維持を行います。

### 6. 国際交流

中国との交流をさらに推し進め、他国との交流を行い、国際貢献します。

(社) 広島県臨床検査技師会

平成20年度第1回定期総会の開催について (ご案内)

表記総会を下記のとおり開催いたしますので、記載事項を十分ご理解のうえ、ご出席くださいますようお願いいたします。

総会当日は、議案(速報 NO.260)をご持参くださいますようお願いいたします。  
また、総会に先立ちまして、平成19年度技師会会員表彰式を15時から行いますので合わせてご出席下さい。

記

日時 平成20年6月28日(土) 15時30分～16時30分  
場所 広島県立生涯学習センター 4階 視聴覚室  
広島市東区光町2丁目1-14 TEL 082-262-9129  
議事 第1号議案 平成19年度事業報告  
第2号議案 平成19年度一般会計決算報告  
第3号議案 平成19年度一般会計監査報告  
第4号議案 その他

以上

第1号議案 平成19年度事業報告

< 総括 >

- 1) 検査室経営に関する研修会を開催  
ISO15189 認定取得等を推進し、臨床検査室の信頼性の向上を図る研修会を開催した。
- 2) 技師会業務の効率化  
各部局の業務運営マニュアルを整備し、技師会業務の効率化を図った。
- 3) 臨床検査技師の社会的アピール活動の実施
  - ・公益事業(健康展・検査展・文化事業)を開催し、県民の医療及び公衆衛生の向上に貢献した。
  - ・高校生に対し、臨床検査技師の職業紹介を実施した。
  - ・国際貢献事業の一環で、中国荊門市第一人民医院を訪問し学術交流を行った。
  - ・日臨技 FORUM とジョイントしてエイズ予防啓発活動を実施した。
- 4) 技師会組織の強化
  - ・学術団体および職能団体としての両面の事業を積極的に推進した。
  - ・検査研究部門活動を強化し、会員の生涯教育履修率を向上させた。
  - ・論文投稿、学会発表、資格取得等の自己啓発を支援した。
  - ・会員の力を結集する会員相互支援活動を実行した。

< 事務局 >

- 1) 効率的な事務局体制と文書管理システムの維持的推進  
事務局運営マニュアルに従って、文書管理の業務システム化を維持し、全会員に情報を発信した。
- 2) 技師会活動の基幹となる連携体制の確立  
円滑な技師会活動を実施するため、内外における連携の基幹行動を実施した。
- 3) 広島県の助成金に関する事項への対応を実施  
広島県に補助金申請書・報告書を作成、提出した。
- 4) 常務理事会および理事会の開催  
広臨技事務所において常務理事会を12回、理事会を5回開催した。
- 5) 定期総会の開催  
定款の規定に基づき、次の通り総会を開催した。  
①第1回定期総会 平成19年6月30日(土) 広島鉄道病院 2階 大会議室  
②第2回定期総会 平成20年3月22日(日) 広島鉄道病院 2階 大会議室
- 6) 新春祝賀会の開催  
年に1回の会員・賛助会員と役員の親睦と情報交換を目的として開催し、164名の参加者を得た。

< 学術部 >

- 1) 検査研究部門及び領域活動
  - ・検査研究部門(6部門、9領域)は、会員の生涯教育を目的とした研修会を開催した。
  - ・各種認定技師、資格取得へ向けての研修会の開催や情報提供を行った。
  - ・日臨技、中国臨床検査技師会主催の研修会を誘致した。

- ・病院経営、検査室運営に関する支援活動として病院機能評価受審や ISO 取得へ向けての支援に関する研修会を開催した。
  - ・研修会に関するアンケート調査を実施した。
- 2) 生涯教育講座の開催  
生涯教育委員会を中心に、生涯教育講座を広島及び東部地区で開催した。
  - 3) 広島県医学検査学会の開催  
第 25 回広島県医学検査学会を広島市において開催した。
  - 4) 広島県精度管理事業  
精度管理委員会を中心に、広島県医師会と広臨技の共催による広島県精度管理事業を実施した。
  - 5) 会員の業績向上への支援  
広臨技会誌への論文投稿を積極的に支援した。

## ＜ 経理部 ＞

添付資料に基づき概要を報告する。なお、財務諸表は公認会計士の指導のもと作成した。

- 1) 平成 19 年度一般会計決算報告  
事業活動収入は 14,717,754 円、事業活動支出は 14,447,726 円で当期収支差額としては 270,028 円のプラスとなった。予算との比較では、収入としては、会員・賛助会員増加による増収があり、支出としては、広報事業費（印刷費）支出、組織運営費（国際交流）支出の減少がみられた。また、他会計への繰越金を 3,000,000 円行った。この結果、前期からの繰越金 1,920,218 円を加えた次期繰越収支差額は 2,190,246 円となった。
- 2) 特別会計収支報告  
広島県医学検査学会では当期収支差額は 146,470 円のマイナスとなったが、前期繰越金 884,182 円を加え、次期繰越収支差額は 737,712 円となった。生涯教育講座では当期収支差額 59,848 円に前期繰越金 403,679 円を加え、次期繰越収支差額は 463,527 円となった。事務所維持協力金は、一般会計からの繰入金 2,000,000 円があり、16 口返済し、次期繰越収支差額は 7,664,387 円となった。事業準備積立金は、一般会計より 1,000,000 円繰入により、次期繰越収支差額は 2,768,558 円となった。
- 3) 正味財産増減計算書  
当期の一般会計の経常増減額は 3,939 円となり、正味財産期末残高は 19,061,534 円となった。これに特別会計を加えた合計での当期経常増減額は 2,929,302 円、正味財産期末残高は 17,385,718 円となった。
- 4) 財産目録  
資産・負債の内訳を示しており、資産合計は 52,990,359 円、負債合計 35,604,641 円となっており、差額としての正味財産は 17,385,718 円となっている。

## ＜ 渉外・法規部 ＞

- 1) 登記および広島県への報告  
法務局への登記と総会の決定事項を広島県知事に報告した。
- 2) 公益事業の開催
  - ・平成 19 年 11 月 3 日（土）～4 日（日）、北広島町千代田開発センターにおいて、健康検査展を開催した。会員ボランティア 19 名、受診者は 110 名であった。
  - ・平成 19 年 12 月 3 日（土）～2 日（日）、日臨技の全国同時開催事業としてエイズ撲滅キャンペーンに協力し、広島市中区八丁堀の C-Vision に臨床検査技師のスポット CM を放映して、エイズ撲滅のパンフレット等を配布した。
  - ・平成 20 年 3 月 2 日（日）、市民公開講座「平成 20 年から始まる特定検診・特定保健指導について」越川 洋講師、市民公開講座特別講演「鶴呑みにすると怖い健康・ダイエット食品」神田 博史講師の講演を開催した。
- 3) 各種表彰推薦
  - ・表彰審査委員会を開催、平成 19 年度広臨技表彰として学術業績者賞に佐藤晴美技師、齋藤幸枝技師。学術奨励賞として島谷文彦技師、池田隆文技師、竹下武範技師。功労者賞として出合望人技師。特別表彰として室木邦生技師。永年職務精励者賞として 23 名。以上の方々を推薦した。
  - ・日臨技平成 19 年永年職務奨励者表彰に、広臨技から 117 名を推薦した。
  - ・黒住医学研究振興財団の「第 27 回福見秀雄賞」に広臨技から白石幸雄技師を推薦し受賞された。
  - ・名古屋公衆医学研究所集団検診開発助成金関連事業「第 16 回加藤勝也賞」に、広臨技から広島鉄道病院橋本 洋技師を推薦し受賞された。
  - ・日本臨床衛生検査技師会「臨床衛生検査業務功労者厚生労働大臣表彰」に広臨技から谷口 薫技師、吉岡孝行技師を推薦し、日臨技から白石幸雄技師が推薦されて 3 名が受賞された。
- 4) 無料職業紹介事業  
臨床検査技師の求人・求職に関するホームページを公開して、就職に便宜を図った。また、平成 20 年 2 月 2 日（日）、安田女子高等学校において 1 年生 200 名のうち、医療関係進学希望者 30 名を対象にして臨床検査技師の職業紹介を実施した。
- 5) その他  
会員の医療事故に対応した臨床検査技師賠償保険およびリンクスの加入促進に努めた。

< 組織調査部 >

1) 地区活動

- ・各地区において地区理事を中心に研修会や学会を開催した。(各地区理事報告を参照)
  - ・各地区においてレクリエーションや交流会で会員間の親睦を深めた。
- 広島地区ボーリング大会 平成19年11月17日 参加者42名

2) 組織強化

- ・新入・転入会員のオリエンテーションを開催し、技師会への意識向上を図った。
- ・施設連絡責任者及び技師長会議を3回に亘り開催した。
- ・広島医学専門学校に出向き3年生に技師会入会へのPR活動を行った。

3) 会員管理 (平成20年3月31日現在)

総会員数1429名、継続会員1334名、新入会員89名、県会員2名、名誉会員4名、賛助会員79社(個人賛助会員1名を含む)

4) 国際交流事業

会員3名が、平成19年10月21～27日の期間に中国、荊門市第一人民医院を訪れ学術交流を行った。

5) 会員支援

エクスペリエンスネットワークを活用し会員相互支援を行った。

< 広報部 >

1) 広臨技速報の発行

速報No.247～258の計12回を発行し、技師会の活動状況や、医療情勢の変化等の情報を提供し、会員の研修会等への参加を促した。

2) 会誌の発行

会誌を年2回、No. 100号を記念誌として11月に発行し、技師会の活動報告や学術論文を掲載した。No. 101号は第25回広島県医学検査学会の抄録集として2月に発行した。

3) ホームページの充実

ホームページ委員会と協力し、各部と連携しながらインターネット(広臨技ホームページ)を利用して会員へ、技師会活動や学会・研修会等の情報を迅速に提供した。

各地区理事事業報告

<呉地区>			<東部地区>		
開催日	行事名	参加者数	開催日	行事名	参加者数
4月19日	呉地区微生物研修会	12人	5月24日	平成19年度生涯教育講座第1回	111人
4月26日	呉地区研修会	46人	6月2日	第9回備後糖尿病チーム医療研究会	12人
5月9日	呉地区細胞診研修会	15人	6月7日	東部地区感染制御部門研修会	52人
5月10日	呉地区輸血談話会	15人	6月23日	東部地区免疫血清検査研修会	39人
5月24日	呉地区研修会	31人	6月23日	東部地区一般検査分野研修会	56人
6月14日	呉地区微生物研修会	11人	7月14日	東部地区免疫血清検査研修会	10人
6月23日	第3回呉地区栄養サポート研究会	6人	7月14日	新入会員オリエンテーション	25人
6月28日	呉地区研修会	20人	7月26日	平成19年度生涯教育講座第2回	85人
7月7日	呉地区七夕研修会特別講演	123人	8月25日	第154回細胞診研修会	22人
7月7日	呉地区七夕研修会一般演題	128人	8月30日	東部地区生理検査研修会	33人
7月7日	呉地区七夕研修会意見交換会	83人	9月6日	東部地区感染制御部門研修会	33人
8月2日	呉地区血液研修会	21人	9月27日	平成19年度生涯教育講座第3回	76人
8月9日	呉地区輸血談話会	11人	9月30日	東部地区レクリエーション	18人
9月6日	呉地区微生物研修会	15人	11月15日	東部地区免疫血清検査研修会	36人
9月12日	呉地区細胞診研修会	13人	11月22日	平成19年度生涯教育講座第4回	60人
9月27日	呉地区研修会	25人	11月25日	第14回福山医学祭	39人
10月4日	呉地区血液研修会	20人	12月1日	第12回広臨技東部地区学会	50人
10月25日	呉地区研修会	30人	12月1日	一般公開講座	70人
11月7日	呉地区親睦会(ボウリング大会)	42人	12月6日	東部地区感染制御・形態検査合同研修会	31人
11月8日	呉地区輸血談話会	14人	1月12日	第155回東部地区細胞診研修会	18人
11月14日	呉地区細胞診研修会	12人	2月21日	東部地区生理検査研修会	22人
11月22日	呉地区研修会	20人	2月21日	東部地区移植検査部門研修会	26人
11月29日	呉地区微生物研修会	13人	2月27日	平成19年度生涯教育講座第5回	54人
1月17日	呉地区血液研修会	14人	3月13日	東部地区免疫血清検査研修会	32人
1月24日	呉地区意見交換会	46人			
1月26日	第4回呉地区栄養サポート研究会	8人			
2月14日	呉地区微生物研修会	10人			
2月22日	呉地区輸血談話会(地区・領域合同)	32人			
2月28日	呉地区研修会	32人			
3月12日	呉地区細胞診研修会	10人			
3月13日	呉地区血液研修会	19人			
<北部地区>			<東広島地区>		
開催日	行事名	参加者数	開催日	行事名	参加者数
6月9日	北部地区研修会	21人	5月30日	血液検査研修会	16人
10月6日	北部地区研修会	12人	6月20日	一般検査研修会	17人
11月17日	北部地区研修会	17人	7月18日	生化学検査研修会	17人
12月15日	北部地区研修会	18人	10月4日	生理検査研修会	21人
			1月22日	臨床病理(癌)研修会	38人
			3月4日	東広島地区交流会(ボウリング大会)	26人
			3月28日	血液検査研修会	20人

第2号議案 平成19年度一般会計決算報告

(一般会計) 収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1 事業活動収入</b>				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 会費・入会金収入	11,928,000	12,522,000	△ 594,000	
① 入会金収入	50,000	89,000	△ 39,000	@1,000×89人
② 正会員会費収入	9,660,000	10,066,000	△ 406,000	@7,000×1,438人
③ 県会員会費収入	28,000	7,000	21,000	@7,000×1人
④ 賛助会員会費収入	2,190,000	2,360,000	△ 170,000	@30,000×78社,@15,000×1名,会員証5000
(3) 事業収入	100,000	130,968	△ 30,968	
① 研修会事業収入	100,000	130,968	△ 30,968	
② その他事業収入	0	0	0	
(4) 会誌発行事業収入	250,000	270,000	△ 20,000	
① 会誌広告収入	250,000	270,000	△ 20,000	
② 会誌協力金収入	0	0	0	
(5) 補助金等収入	1,469,000	1,770,900	△ 301,900	
① 県助成金収入	100,000	100,000	0	医療技術者研修事業等補助金
② 日臨技教育研修助成金収入	859,000	1,067,800	△ 208,800	生涯教育制度負担金、公益事業補助金
③ 日臨技助成金収入	510,000	603,100	△ 93,100	会費、総会委任状回収費
(6) 雑収入	100,000	23,886	76,114	
① 受取利息	0	6,167	△ 6,167	
② 雑収入	100,000	17,719	82,281	
(7) 他会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	13,847,000	14,717,754	△ 870,754	
<b>2 事業活動支出</b>				
(1) 事業費支出	6,340,500	6,116,663	223,837	
① 学術事業費支出	1,564,500	1,654,352	△ 89,852	
② 渉外事業費支出	296,500	324,812	△ 28,312	
③ 組織運営費支出	2,041,500	1,882,399	159,101	
④ 広報事業費支出	1,610,000	1,385,130	224,870	
⑤ 教育研修事業費支出	828,000	869,970	△ 41,970	
(2) 管理費支出	4,656,500	4,631,063	25,437	
(3) 他会計への繰入金支出	2,750,000	3,700,000	△ 950,000	
① 広島県医学検査学会特別会計への繰入金支出	700,000	700,000	0	
② 生涯教育講座特別会計への繰入金支出	50,000	0	50,000	
③ 事務所維持協力金特別会計への繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0	
④ 事業準備積立金特別会計への繰入金支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	
事業活動支出計	13,747,000	14,447,726	△ 700,726	
事業活動収支差額	100,000	270,028	△ 170,028	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1 投資活動収入</b>				
投資活動収入計	0	0	0	
<b>2 投資活動支出</b>				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1 財務活動収入</b>				
財務活動収入計	0	0	0	
<b>2 財務活動支出</b>				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	100,000		100,000	
<b>当期収支差額</b>	0	270,028	△ 270,028	
<b>前期繰越収支差額</b>	700,000	1,920,218	△ 1,220,218	
<b>次期繰越収支差額</b>	700,000	2,190,246	△ 1,490,246	

(広島県医学検査学会特別会計)収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで (単位:円)

科 目	決算額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
(1) 事業収入	1,538,625	
① 抄録広告収入	1,084,625	広告・展示収入、協賛金
② 事業雑収入	454,000	弁当代ほか
(2) 補助金等収入	0	
(3) 雑収入	2,191	
① 受取利息	2,191	
(4) 他会計からの繰入金収入	700,000	
① 一般会計からの繰入金収入	700,000	一般会計より繰入
事業活動収入計	2,240,816	
2 事業活動支出		
(1) 事業費支出	2,387,286	
会議費	94,200	学会、懇親会費、弁当費
旅費交通費	3,330	
通信運搬費	12,160	
印刷費	580,000	抄録集
諸謝金	366,108	講師料(源泉税含む)
会場費	1,227,007	会場費、看板代
雑費	104,481	
(2) 他会計への繰入金支出	0	
事業活動支出計	2,387,286	
事業活動収支差額	△ 146,470	
II 投資活動収支の部		
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	
当期収支差額	△ 146,470	
前期繰越収支差額	884,182	
次期繰越収支差額	737,712	

(生涯教育講座特別会計)収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで (単位:円)

科 目	決算額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
(1) 事業収入	902,000	(内訳)
受講料収入	902,000	@2,500×359名
(2) 補助金等収入	0	学生@2,000×2名
(3) 雑収入	800	看護師@500×1名
① 受取利息	800	
(4) 他会計からの繰入金収入	0	
事業活動収入計	902,800	
2 事業活動支出		
(1) 事業費支出	842,952	
会議費	24,000	
旅費交通費	115,880	委員
通信運搬費	0	
消耗品費	23,570	
印刷費	147,375	テキスト印刷
諸謝金	263,000	講師料・交通費含む
会場費	95,570	
備品費	170,400	
雑費	3,157	
(2) 他会計への繰入金支出	0	
事業活動支出計	842,952	
事業活動収支差額	59,848	
II 投資活動収支の部		
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	
当期収支差額	59,848	
前期繰越収支差額	403,679	
次期繰越収支差額	463,527	

(事務所維持協力金特別会計)収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで (単位:円)

科 目	決算額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
(1) 事業収入	0	
(2) 補助金等収入	0	
(3) 雑収入	12,429	
① 受取利息	12,429	
(4) 他会計からの繰入金収入	2,000,000	
① 一般会計より繰入金収入	2,000,000	協力金返済資金積立
事業活動収入計	2,012,429	
2 事業活動支出		
(1) 事業費支出	3,360	
① 支払手数料	3,360	振込手数料
(2) 他会計への繰入金支出	0	
事業活動支出計	3,360	
事業活動収支差額	2,009,069	
II 投資活動収支の部		
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
1 財務活動収入	0	
2 財務活動支出		
① 事務所維持協力金返済支出	160,000	
事務所維持協力金返済支出	160,000	16口
財務活動支出計	160,000	
財務活動収支差額	△ 160,000	
当期収支差額	1,849,069	
前期繰越収支差額	5,815,318	
次期繰越収支差額	7,664,387	

(事業準備積立金特別会計)収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで (単位:円)

科 目	決算額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
(1) 事業収入	0	
(2) 補助金等収入	0	
(3) 雑収入	2,916	
① 受取利息	2,916	
(4) 他会計からの繰入金収入	1,000,000	
① 一般会計より繰入金収入	1,000,000	
事業活動収入計	1,002,916	
2 事業活動支出		
(1) 事業費支出	0	
(2) 他会計への繰入金支出	0	
事業活動支出計	0	
事業活動収支差額	1,002,916	
II 投資活動収支の部		
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	
当期収支差額	1,002,916	
前期繰越収支差額	1,785,642	
次期繰越収支差額	2,788,558	

**平成19年度収支計算書総括表(案)**

自平成19年4月1日 至平成20年3月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	広島県医学検査 学会特別会計	生涯教育講座 特別会計	事務所維持 協力金 特別会計	事業準備 積立金 特別会計	内部取引 消 去	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>							
1. 事業活動収入							
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	0
(2) 会費・入会金収入	12,522,000	0	0	0	0	0	12,522,000
(3) 事業収入	130,968	1,538,625	902,000	0	0	0	2,571,593
(4) 会誌発行事業収入	270,000	0	0	0	0	0	270,000
(5) 補助金等収入	1,770,900	0	0	0	0	0	1,770,900
(6) 雑収入	23,886	2,191	800	12,429	2,916	0	42,222
(7) 他会計からの繰入金収入	0	700,000	0	2,000,000	1,000,000	△ 3,700,000	0
事業活動収入計	14,717,754	2,240,816	902,800	2,012,429	1,002,916	△ 3,700,000	17,176,715
2. 事業活動支出							
(1) 事業費支出	6,116,663	2,387,286	842,952	3,360	0	0	9,350,261
(2) 管理費支出	4,631,063	0	0	0	0	0	4,631,063
(3) 他会計への繰入金支出	3,700,000	0	0	0	0	△ 3,700,000	0
事業活動支出計	14,447,726	2,387,286	842,952	3,360	0	△ 3,700,000	13,981,324
事業活動収支差額	270,028	△ 146,470	59,848	2,009,069	1,002,916	0	3,195,391
<b>II 投資活動収支の部</b>							
1. 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 財務活動収支の部</b>							
1. 財務活動収入	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	160,000	0	0	160,000
財務活動収支差額	0	0	0	△ 160,000	0	0	△ 160,000
当期収支差額	270,028	△ 146,470	59,848	1,849,069	1,002,916	0	3,035,391
前期繰越収支差額	1,920,218	884,182	403,679	5,815,318	1,765,642	0	10,789,039
次期繰越収支差額	2,190,246	737,712	463,527	7,664,387	2,768,558	0	13,824,430

**収支計算書に対する注記**

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、立替金、未払金、前受金、預り金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳(総括)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	32,494,368	36,119,071
立替金	1,478	0
合 計	32,495,846	36,119,071
未払金	121,597	0
前受金	8,860,000	9,152,000
預り金	12,725,210	13,142,641
合 計	21,706,807	22,294,641
次期繰越収支差額	10,789,039	13,824,430

(一般会計)正味財産増減計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 受取会費・入会金	12,522,000	12,293,000	3,753,000
③ 事業収益	130,968	290,977	170,977
④ 会誌発行事業収益	270,000	250,000	190,000
⑤ 受取補助金等	1,770,900	1,568,200	△ 23,200
⑥ 雑収益	23,886	43,602	43,573
⑦ 他会計からの繰入額	0	0	△ 700,000
経常収益計	14,717,754	14,445,779	271,975
(2) 経常費用			
① 事業費	6,116,663	5,810,060	△ 148,306
学術事業費	1,654,352	1,362,813	26,891
渉外事業費	324,812	222,724	227,354
組織運営費	1,882,399	1,684,534	△ 639,369
広報事業費	1,385,130	1,709,979	247,190
教育研修事業費	869,970	830,010	△ 10,372
② 管理費	4,897,152	4,772,575	4,772,575
③ 他会計への繰出額	3,700,000	3,200,000	2,337,003
経常費用計	14,713,815	13,782,635	931,180
当期経常増減額	3,939	663,144	△ 659,205
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 過年度減価償却費	0	1,596,534	△ 1,596,534
過年度建物減価償却費	0	1,596,534	△ 1,596,534
経常外費用計	0	1,596,534	△ 1,596,534
当期経常外増減額	0	△ 1,596,534	1,596,534
当期一般正味財産増減額	3,939	△ 933,390	937,329
一般正味財産期首残高	19,057,595	19,990,985	△ 933,390
一般正味財産期末残高	19,061,534	19,057,595	3,939
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,061,534	19,057,595	3,939

正味財産増減計算書総括表(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	広島県医学検査 学会特別会計	生涯教育講座 特別会計	事務所維持協力金 特別会計	事業準備積立金 特別会計	内部取引消去	総 合 計
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0
② 受取会費・入会金	12,522,000	0	0	0	0	0	12,522,000
③ 事業収益	130,968	1,538,625	902,000	0	0	0	2,571,593
④ 会誌発行事業収益	270,000	0	0	0	0	0	270,000
⑤ 受取補助金等	1,770,900	0	0	0	0	0	1,770,900
⑥ 雑収益	23,886	2,191	800	12,429	2,916	0	42,222
⑦ 他会計からの繰入額	0	700,000	0	2,000,000	1,000,000	△ 3,700,000	0
経常収益計	14,717,754	2,240,816	902,800	2,012,429	1,002,916	△ 3,700,000	17,176,715
(2) 経常費用							
① 事業費	6,116,663	2,387,286	842,952	3,360	0	0	9,350,261
学術事業費	1,654,352	2,387,286	0	0	0	0	4,041,638
渉外事業費	324,812	0	0	0	0	0	324,812
組織運営費	1,882,399	0	0	0	0	0	1,882,399
広報事業費	1,385,130	0	0	0	0	0	1,385,130
教育研修事業費	869,970	0	842,952	0	0	0	1,712,922
其他事業費	0	0	0	3,360	0	0	3,360
② 管理費	4,897,152	0	0	0	0	0	4,897,152
③ 他会計への繰出額	3,700,000	0	0	0	0	△ 3,700,000	0
経常費用計	14,713,815	2,387,286	842,952	3,360	0	△ 3,700,000	14,247,413
当期経常増減額	3,939	△ 146,470	59,848	2,009,069	1,002,916	0	2,929,302
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,939	△ 146,470	59,848	2,009,069	1,002,916	0	2,929,302
一般正味財産期首残高	19,057,595	884,182	403,679	△ 7,654,682	1,765,642	0	14,456,416
一般正味財産期末残高	19,061,534	737,712	463,527	△ 5,645,613	2,768,558	0	17,385,718
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,061,534	737,712	463,527	△ 5,645,613	2,768,558	0	17,385,718



貸借対照表総括表(案)

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	広島県医学検査 学会特別会計	生涯教育講座 特別会計	事務所維持協力金 特別会計	事業準備積立金 特別会計	内部取引消去	総合計
<b>I 資産の部</b>							
1. 流動資産	<b>24,484,887</b>	<b>737,712</b>	<b>463,527</b>	<b>7,664,387</b>	<b>2,768,558</b>	<b>0</b>	<b>36,119,071</b>
現金預金	24,484,887	737,712	463,527	7,664,387	2,768,558	0	36,119,071
立替金	0	0	0	0	0	0	0
2. 固定資産	<b>16,871,288</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,871,288</b>
(1) 基本財産	0	0	0	0	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産	16,871,288	0	0	0	0	0	16,871,288
建物	4,030,778	0	0	0	0	0	4,030,778
土地	12,840,510	0	0	0	0	0	12,840,510
資産合計	<b>41,356,175</b>	<b>737,712</b>	<b>463,527</b>	<b>7,664,387</b>	<b>2,768,558</b>	<b>0</b>	<b>52,990,359</b>
<b>II 負債の部</b>							
1. 流動負債	<b>22,294,641</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>22,294,641</b>
未払金	0	0	0	0	0	0	0
前受金	9,152,000	0	0	0	0	0	9,152,000
預り金	13,142,641	0	0	0	0	0	13,142,641
仮受金	0	0	0	0	0	0	0
2. 固定負債	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,310,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,310,000</b>
事務所維持協力金	0	0	0	13,310,000	0	0	13,310,000
負債合計	<b>22,294,641</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,310,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>35,604,641</b>
<b>III 正味財産の部</b>							
1. 指定正味財産	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2. 一般正味財産	<b>19,061,534</b>	<b>737,712</b>	<b>463,527</b>	<b>△ 5,645,613</b>	<b>2,768,558</b>	<b>0</b>	<b>17,385,718</b>
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0	0	0
正味財産合計	<b>19,061,534</b>	<b>737,712</b>	<b>463,527</b>	<b>△ 5,645,613</b>	<b>2,768,558</b>	<b>0</b>	<b>17,385,718</b>
負債及び正味財産合計	<b>41,356,175</b>	<b>737,712</b>	<b>463,527</b>	<b>7,664,387</b>	<b>2,768,558</b>	<b>0</b>	<b>52,990,359</b>

財産目録(案)

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金		
現金 本部・経理部(地区・領域活動費残金含む)	370,364	
現金(広島県医学検査学会特別会計)	0	
現金(生涯教育特別会計)	132,048	
現金(事務所維持協力金特別会計)	2,445	
普通預金(事務局) もみじ銀行広島中央支店	505	
普通預金(経理部) もみじ銀行広島中央支店	435,607	
郵便振替(会費等入金口)	23,179,664	
普通預金(地区・領域活動費残金)	498,747	
普通預金(広島県医学検査学会特別会計)	737,712	
普通預金(生涯教育講座特別会計)	331,479	
普通預金(事務所維持協力金特別会計)	7,661,942	
郵便貯金(事業準備積立金特別会計)	2,768,558	
現金預金合計	36,119,071	
流動資産合計		36,119,071
2 固定資産		
(1) 基本財産	0	
(2) 特定資産	0	
(3) その他固定資産		
建物 本部事務所マンション	4,030,778	
土地 本部事務所マンション	12,840,510	
その他固定資産合計	16,871,288	
固定資産合計		16,871,288
資産合計		52,990,359
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	0	
前受金 20年度会費等前受金	9,152,000	
預り金		
(社)日本臨床衛生検査技師会会費等	13,090,000	
研修会講師等預り源泉所得税	52,641	
預り金計	13,142,641	
流動負債合計		22,294,641
2 固定負債		
事務所維持協力金		
本部事務所取得資金	13,310,000	
固定負債合計		13,310,000
負債合計		35,604,641
正味財産		17,385,718

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,159,490	2,128,712	4,030,778
合計	6,159,490	2,128,712	4,030,778

### 3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
医療技術者研修事業補助金	広島県	0	100,000	100,000	0	—
助成金						
生涯教育制度負担金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	867,800	867,800	0	—
業務委託負担金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	393,600	393,600	0	—
総会委任状回収負担金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	139,700	139,700	0	—
施設資料郵送助成金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	69,800	69,800	0	—
AED助成金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	100,000	100,000	0	—
エイズ予防啓発事業助成金	(社)日本臨床衛生検査技師会	0	100,000	100,000	0	—
合計		0	1,770,900	1,770,900	0	

## 第3号議案 平成19年度一般会計監査報告

社団法人 広島県臨床検査技師会  
会長 板羽 秀之 殿


(社)広島県臨床検査技師会定款第5章、第34条により、平成19年度の帳票及び証拠書類など一般会計及び特別会計等全般にわたり監査したところ、正確に記帳整理されていたことを認めます。

併せて、平成19年度までの貸借対照表、財産目録についても正しく記帳されていた事を認めます。

以上

平成 20 年 5 月 2 日

社団法人 広島県臨床検査技師会

監事 新田 和雄 

監事 若林 信彦 

## 平成19年度広臨技表彰者

平成19年度技師会会員表彰式を平成20年6月28日(土)15時より平成20年度第一回定期総会に先立ちまして開催いたします。

### 学術業績者賞

佐藤 晴美 技師 福山循環器病院  
「心不全重症度評価におけるBNPの有用性 -MIBGとの比較-」  
齋藤 幸枝 技師 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター  
「-ARCHITECT i 2000によるCA19-9の測定-  
CA19-9従来試薬とCA19-9XR新試薬の比較検討」

### 学術奨励賞

島谷 文彦 技師 尾道市立市民病院  
池田 隆文 技師 済生会広島病院  
竹下 武範 技師 広島大学病院

### 功労者賞

出合 望人 技師 マツダ(株) マツダ病院

### 永年職務精励者賞

上田 眞理江	市立三次中央病院	貝原 加苗江	厚生連広島総合病院
小勝負 恭子	広島赤十字・原爆病院	古本 暁美	県立広島病院
伊藤 明子	広島市立広島市民病院	河野 純子	広島赤十字・原爆病院
栗原 俊雄	福山市民病院	前 留美子	呉みどりヶ丘病院
阿津地 恵	福山市民病院	紙本 哲治	総合病院三原赤十字病院
長崎 ひなこ	山下内科小児科病院	橋口 正大	福山市民病院
浜野 育美	中国電力(株)中電病院	柴田 英司	自宅会員
櫛田 あけみ	公立学校共済組合 中国中央病院		
中井 早苗	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		
山本 津由子	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		
杉原 清美	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		
下中 秋子	独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター		
渡辺 昌三	広島市医師会臨床検査センター		
山崎 雅昭	広島市医師会臨床検査センター		
崎村 由季	独立行政法人労働者健康福祉機構 中国労災病院		
立浜 あきよ	医療法人青山会 西条中央病院		

### 特別表彰

室木 邦生 県立広島病院



### <総会を欠席される方へ>

委任状または書面表決票を必ず提出してください。

毎年、委任状と書面表決票の2枚を提出される方がいます。

委任状は議決権を代理人に委任するもの、書面表決票は書面によって議案に対して賛同か反対か意思表示し、議決権を行使するものです。よって2枚を同時に提出することはありませんのでご注意ください。(2枚提出された場合は、書面表決票を本人の意思をより表すものとして、優先して扱います。)

文責 組織調査部長 田中 美樹

## 厚生労働大臣表彰を受賞して



山陽女子短期大学 臨床検査学科  
白石 幸雄

日臨技創立 55 周年、法人化 45 周年記念式典が東京のホテルオークラで挙行政され、その席上で日臨技、広臨技のご推薦により厚生労働大臣表彰を受賞することができました。

臨床検査技師として昭和 45 年から 37 年間の仕事を振り返ると様々な出来事、特に昭和 63 年に J A 広島総合病院に赴任後、臨床検査室の数次にわたる近代化・合理化計画をおし進める中、スタッフと共に独自に開発した、ベルトラインシステムや臨床検査システムが、他の病院に受け入れられたことが印象深く頭をよぎりました。

技師会では広臨技や中国の会長を務めさせていただき、先輩方が築いてこられた組織を発展させながら、次代に渡すことが大切なことだと思ってきました。ただ、どれ程の事ができたか、忸怩たる思いがあります。幸いにも広臨技は人を得て、発展させている姿を見ることが出来、安心をしていますし、これからも会員の為、全力で頑張っていたくことを祈念しています。

私を支えていただきました、広臨技の皆様、広島総合病院のスタッフにお礼を言いたいと思います。「皆さんのお陰で受賞できました、ほんとうにありがとう」。



有限会社 エヌ・イー・ピー  
相談役 吉岡 孝行

北部地区研修会を始めた動機は、当時広島市内では研修会が開催されていましたが、県北からは交通機関が悪く気楽に参加できる状況ではありませんでした。北部で研修会を開催し学術や技術の研磨は基より技師同士の親交を深めお互いが顔見知りになれば他の職場の方に気楽に相談もできて、一人とか二人で働いている技師さんの悩みも解消されるのではと懇親会付きで開催してきました。今では全員が顔見知り！

「検査技師さんて・・・ああおしっこの検査するひと！」と一般の方々の臨床検査の認知度は低く理解されていませんでした。検査技師の仕事を理解していただこうと始めたのが検査展。最初は三次市にお願いして市が主催される健康展の一角に検査コーナーを設けて北部地区の技師さんは総動員で検尿、血液、生化学検査を無料で実施。その他の分野は公衆衛生に至るまで顕微鏡、写真、ポスター、スライド、OHP 等駆使して来場者一人一人に説明しました。私は客引き係でしたが。

技師仲間、賛助会員の方々及び地域の方々のお陰で研修会や検査展を開催することができました。一緒に歩んできた仲間を代表して授章したもので改めて支えて頂いた多くの方々に御礼申し上げます。



広島市立広島市民病院

谷口 薫

今からちょうど20年前（1998年）のことではありますが、父親が厚生大臣表彰を受賞したとい  
って、額縁に入れた表彰状を、座敷の鴨居に掛けていたのを思い出しました。当時は、父親は技師会  
の仕事をしてきたから受賞したのだと、軽く考えていましたが、この度、私が同じ厚生労働大臣表彰  
を受賞することになって、初めて受賞の重みと父親が検査技師として歩いてきた軌跡の偉大さを、実  
感することができました。受賞に当たり、私は今日まで多くの先輩方や、技師会の仲間や、職場の同  
僚に支えられてきたことに、深く感謝申し上げます。36年前に就職したばかりの私に、技師会の会  
報作りを一緒にやらないかと声を掛けてくださった広報部員を皮切りに、組織部員、血液研究班員、  
血液研究班班長、理事、学術部長、副会長、会長と、私の半生は広臨技と共に歩ませていただいたと  
いっても過言ではありません。この度の受賞は、私を今まで支えてくださった皆様方を代表して頂い  
たものと思っており、これから技師会に少しでも恩返しが出来ればと願っております。私を支えてく  
ださった皆様方に、心から御礼申し上げます。「ありがとうございました。」

## 第二回血液形態セミナーのおしらせ

拝啓

初夏の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、  
厚くお礼申し上げます。

血液領域では下記の内容で第二回血液形態セミナーを開催します。

今回は防衛医科大学校病院の坂場幸治先生をお迎えして「白血病の形態所見による判別方法」につ  
いてご講演をして頂きます。ご多忙中とは存じますが、多数参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成20年6月21日(土) 15時から18時まで  
会場 サンルートホテル広島 楓の間  
広島市中区大手町3丁目3-1 (082-249-3600)

講演1 「セルダインサファイアを用いたフローサイトメトリーへの応用」  
講師 橋本 裕 先生  
(アボットジャパン株式会社 ヘマトロジースペシャリスト)

講演2 「白血病の形態所見による判別方法 -WHO分類を中心に-」  
講師 坂場 幸治 先生 (防衛医科大学校病院)

問合せ先：県立広島病院 臨床研究検査科 瀧上 浩美  
TEL (082) 254-1818 内線 1326

後援：アボットジャパン株式会社

## 「臨床検査データ標準化事業」への参加について

(社)広島県臨床検査技師会  
臨床検査標準化委員会委員長 新田 和雄

### 1. はじめに

受診する病院が変わっても、互換性のある臨床検査値の患者への返却・提供、臨床検査の共有化は臨床検査の直面した問題であり、社会に対する責務です。現在「日本医師会精度管理調査」、「日本臨床衛生検査技師会」や「都道府県医師会・技師会」主催の大規模調査が行われているが、年1回の調査で、ワンポイントだけの検査値の比較であり、実際面での効率については疑問であった。このような点から、毎日行っている内部精度管理成績を利用して、互換性の検討を行うことになった。最終目標としては、日本全国どこの病院でも共通の臨床検査データになることである。このような背景のなか、最近メタボリックシンドローム健診の重要性がマスコミ等でも盛んに取り上げられ、厚生労働省の施策も平成20年度4月より大きく動き出し、まさにデータ共有化へ向けた時期が到来したものと思われる。「臨床検査データ標準化事業」は(社)日本臨床衛生検査技師会が担当することになり、臨床検査データ共有部会(臨床検査データ共有化ガイドライン:「医学検査」第55巻11号)を中心に、各都道府県技師会の協力のもと臨床検査データ共有化の全国展開を目標に平成19年から新たに活動を開始している。広島県は、今年度平成20年より参加することになった。

### 2. 広島県臨床検査技師会の標準化事業参加への経過

- (1) 2007年8月11日、同年11月10日の施設連絡責任者・技師長会で標準化の必要性と対応について協議した。
- (2) 同年11月27日、準備委員会開催。基幹施設の選定を討議するが地区割りの必要性から地区にて選定作業を行うこととした。
- (3) 2008年2月19日、第1回臨床検査標準化委員会開催。委員長の選出、基幹施設の決定、スケジュールについて討議した。

#### (4) 委員と基幹施設

顧問：谷口 薫(広島市立広島市民病院) 板羽 秀之(広島大学病院)

委員長：新田 和雄(県立広島病院)

委員(13名)および基幹施設(4施設)：

鈴木 忠子、津川 和子	(基幹施設①：広島大学病院)
新田 和雄	(基幹施設②：県立広島病院)
福岡 達仁	(基幹施設③：厚生連広島総合病院)
米田 登志男	(基幹施設④：広島赤十字・原爆病院)
兼丸 恵子	(広島市立広島市民病院)
室 暢彰	(吉島病院)
金本 実	(北部地区：三次医師会検査センター)
高夫 智子	(呉地区：済生会広島病院)
細谷 勝己	(東部地区：尾道総合病院)
松本 信一	(東部地区：福山臨床検査センター)
水野 誠士	(理事：厚生連広島総合病院)
藤上 良寛	(理事：県立安芸津病院)

### 3. 平成20年度・(社)日本臨床衛生検査技師会臨床検査データ標準化事業の概略

#### (1) 事業目的

臨床検査データ標準化の全国実現のために、国内の47都道府県技師会を対象とした期間3年間(2007~2009年度)の実践活動を推進し、国民の健康増進・疾病予防の支援を目的とする臨床検査データ信頼性保証の達成を目指した事業である。

#### (2) 対象測定項目

本事業の対象項目は、標準物質が設定されている項目、および標準的な健診・保健指導プログラムで取り上げられている項目などとする。

TG,HDL-C,LDL-C,TC,GLU,CRE,UN,UA,AST,ALT,GGT,CK,ALP,LD,AMY,ChE,

Na,K,Cl,Ca,ALB,TP,TBIL,DBIL,IP,Fe,CRP,HbA1c,CBC

(3) 実施期間 (2年目)

平成20年4月から平成20年12月(平成21年1月から3月はまとめ期間)

(4) 事業の概要

全国都道府県および日臨技検査標準化WGは以下の活動を行い、地域単位および全国的なトレーサビリティ連鎖の実現と継続性確認のための手順を構築し実践する。

- 1) 都道府県ごとにデータ標準化委員会および基幹施設を設け、基幹施設はトレーサブルな測定値の確保を行う。
- 2) 基幹施設と都道府県内各参加施設の間で、都道府県で用意したプール血清や市販管理血清などの管理物質を用いて正確さの伝達と継続性確認を行う。
- 3) 都道府県内参加施設は、管理物質を用いた内部精度管理を実施、その成績を都道府県データ標準化委員会に提出する。
- 4) 都道府県データ標準化委員会は、日臨技検査標準化WGに、都道府県内の施設間・施設内精度状況を報告し、日臨技は全国のデータ標準化の状況を集約し解析する。

(5) 手順の概要

各都道府県の基幹施設は、標準物質を用いて測定法(標準化対応法)を校正する。地域内各施設の測定法が、標準化対応法として互換性が保証されている分析法であることを確認する。また、基幹施設から地域内各施設には、プール血清などの管理物質を介して正確さを伝達し、その継続性を確認する。さらに、地域内各施設の施設間・施設内精度を日本臨技に報告し全国の状況を把握する。

4. (社)広島県臨床検査技師会・臨床検査標準化委員会の対応

今年度初めて参加する広島県臨床検査技師会にはノウハウがないことから、出来ることから実施していく方針である。基幹施設の充実と、今年度は参加施設を公募せず、地区委員による限定参加を計画している。来年度は予算申請を行いその上で、参加施設の公募が出来るよう実績を積み上げてゆきたいと考えている。会員の皆様のご理解をお願いする。

## 生理検査部門研修会のお知らせ

会員各位

(社) 広臨技 生理検査部門

生理検査部門では下記のとおり、平成20年度第1回研修会を開催します。新年度も始まり、新採用や新たに生理検査に配属され、エコー検査を始められた会員も居られると思います。そのような会員のため昨年の心臓に続き、今年は腹部エコーの基礎の研修を開催します。また、GE 横河メディカルシステム株式会社の協力により、2台の超音波診断装置を用意して、講義に引き続きハンズオンセミナーも行います。希望者には簡単な実習も出来ると思いますので、エコーを始められたばかりの方、始めようと考えている方、また他部門に従事していてもエコーに興味のある方等、多数の会員のご参加をお待ちしています。

<記>

日時：平成20年6月21日(土) 14:00~16:00

場所：県立広島病院 中央棟2階 講義室

内容：1.講演

演題「腹部エコーの基礎」

講師 三次中央病院

箕岡 博 技師

2.ハンズオンセミナー

超音波検査士 2名

お問い合わせ先

尾道市民病院 生理検査室 島谷 文彦

0848-47-1155 (466)

平成 20 年 5 月 吉日

広臨技会員各位

広島県臨床検査技師会

形態部門 病理細胞検査領域

総合管理部門 管理情報領域

日本臨床細胞学会広島県支部細胞検査士会

## 病理細胞検査・管理情報領域合同研修会のお知らせ

拝啓

新緑の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて病理細胞検査領域(共催:広島県細胞検査士会)と管理情報領域で下記の通り合同研修会を企画いたしました。細胞検査は乳腺病理・細胞診の基本を川崎医科大学病理学 2 教授の森谷卓也先生に、病理検査はホルムアルデヒドの有害性と対処法を日本病理学会ガイドライン作成に携わられた呉医療センター・中国がんセンターの谷山清己先生にお話しいただきます。

ご多忙中とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日時：平成 20 年 7 月 12 日（土） 12 時 30 分～17 時

場所：広島大学医学部 第四講義室

広島市南区霞 1-2-3（問い合わせは広島大学病院病理部 082-257-5593）

内容：12:30～14:00

①「乳腺 病理・細胞診の基本」

講師：川崎医科大学病理学 2 教授 森谷卓也 先生

14:15～14:30

②「ホルムアルデヒドに関するアンケート調査報告」

講師：呉医療センター・中国がんセンター臨床検査科 病理診断室 坂根潤一 技師

14:30～15:50

③「特定化学物質障害予防規則について—ホルマリン規制強化—」

16:00～17:00

④「ホルムアルデヒドの有害性と対処法—日本病理学会資料提供者として—」

講師：呉医療センター・中国がんセンター 臨床研究部長 谷山清己 先生

連絡先 病理細胞領域：福山市医師会臨床検査センター 和田栄津子 tel 084-928-9922

総合管理部門：広島市立広島市民病院 飯伏 義弘 tel 082-221-2291

広島県細胞検査士会：JA 吉田総合病院 青木 章乃 tel 0826-42-0636



平成 20 年 4 月吉日  
広島県臨床検査技師会 学術部  
形態部門 一般領域

## 尿沈渣講習会のご案内

拝啓

春色のなごやかな季節、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。このたび、下記の日程で尿沈渣研修会を開催いたします。

内容は、尿沈渣標本の作製から、基本的成分の解説まで、基礎的な研修会を計画しています。皆様振るってご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

日時 平成 20 年 6 月 22 日（日） 13：00～

場所 広島大学病院 保健学科 10 階 1006 実習室

内容	①尿沈渣標本の作製法	本田太一	済生会広島病院
	②尿沈渣成分の解説		
	血球系	石橋 健	広島鉄道病院
	上皮系	若松宏子	広島市立広島市民病院
	円柱系	山根博行	県立広島病院
	結晶系	金子 英	広島市医師会臨床検査センター
	異型細胞	山下美香	厚生連広島総合病院
	症例・まとめ	河野雄一	済生会呉病院

(敬称略)

定員 30 名程度

受講料 3,000 円

申込要項 別紙の「講習会申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送にて下記までお申込下さい。

後日、受講票・案内を発送します。

申込先・問合せ 〒737-0821 呉市三条 2 丁目 1-13 電話 0823-21-1601  
済生会呉病院 臨床検査室 河野雄一 宛

(社)広島県臨床検査技師会

形態部門 一般領域  
尿沈渣講習会申込書

ふりがな		性別	生 年 月 日
氏 名		男・女	T・S 年 月 日
勤務先名			
勤 務 先	〒		
所在地・電話	電話 ( )- - 内線		
会員番号		担当業務	
一般検査 経験年数	1年未満 1～3年 3年以上	その他 ( )	
○で囲んで ください	当直時のみ		
【通信欄】			
以上のとおり申し込みます			
氏 名			サイン
(下段へは記入しないでください)			
受 付	月 日	No.	

## 感染制御部門研修会のお知らせ

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。感染制御部門では、敗血症をテーマに下記の内容で研修会を開催いたします。  
ふるってご参加ください。

－記－

日 時：平成 20 年 6 月 21 日（土）14:30～17:00（14:00 受付開始）

場 所：広島鉄道病院 2 階 大会議室（広島市東区二葉の里 3-1-36）

内 容：「新規な細菌性敗血症マーカー“プロカルシトニン”について」

和光純薬工業株式会社 臨薬営業本部西日本 CS 課 中井 剛史 先生  
「敗血症とプロカルシトニン（仮題）」

広島大学病院 診療支援部 木場 由美子 技師  
「敗血症の病態と治療（仮題）」

県立広島病院 麻酔集中治療科 須山 豪通 先生

（※出席の際は、会員証をご持参ください）

### 広臨技求人のご案内

現在届いてる求人情報をお知らせいたします。（2008. 5. 1）

問合せ先（社）広島県臨床検査技師会 事務所 FAX(082) 502-6031

技師会ホームページから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付 No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
101	平成 19 年 8 月 1 日	診療所	広島市中区	①正社員	1名	検体検査、生理検査
102	平成 19 年 8 月 28 日	病院	広島市西区	①正社員	1名	生理検査、検体検査
103	平成 19 年 9 月 25 日	病院	広島市中区	①正社員	1名	臨床検査、その他医療業務
104	平成 19 年 10 月 2 日	診療所	広島市中区	③パート	2名	臨床検査、その他医療業務
105	平成 19 年 10 月 9 日	診療所	東広島市	①正社員	1名	採血業務、生理検査、看護補助
106	平成 19 年 10 月 22 日	診療所	広島市中区	①正社員	1名	生化学検査
108	平成 19 年 11 月 21 日	診療所	東広島市	③パート	1名	一般血液、生理検査
109	平成 19 年 12 月 14 日	診療所	広島市中区	①③	各1名	健診業務、検体、心電図、超音波
110	平成 19 年 12 月 18 日	病院	広島市南区	②臨時	1名	細胞診、病理組織
112	平成 20 年 1 月 11 日	病院	三次市	①正社員	若干名	臨床検査、その他医療業務
113	平成 20 年 2 月 5 日	病院	福山市	③パート	1名	臨床検査(生理機能、生化学)
114	平成 20 年 2 月 14 日	診療所	福山市	①正社員	2名	主に癌免疫療法研究の仕事
115	平成 20 年 2 月 14 日	病院	東広島市	①③	若干名	
116	平成 20 年 2 月 15 日	病院	尾道市	②臨時職員	1名	血液検査、一般検査など
117	平成 20 年 2 月 18 日	検査センター	呉市	①正社員	1名	細胞診・病理検査(細胞検査士)
119	平成 20 年 4 月 11 日	その他	広島市	①正社員	1名	CRA 業務全般
120	平成 20 年 4 月 22 日	その他	広島市中区	②臨時職員	2名	献血者血液の分析等

## 随想録

### 「故郷」

総合病院庄原赤十字病院

佐藤 慧一

今回書かせて頂くことになって何を題材に書くか非常に悩んだのですが、せっかくこのような機会を頂いたので、一時のブームで終わってしまった佐賀県を改めて紹介させて頂きたいと思います。

最初に紹介させて頂くのは何と言っても焼き物です。皆さんご存じないかもしれませんが、有田焼・伊万里焼・唐津焼は全て佐賀県の焼き物なのです。有田焼と伊万里焼は一般的に『古伊万里』『柿右衛門』『鍋島』の三様式に大別され、焼き物に詳しくない方でもどれか一つくらいは鑑定番組などで聞いたことがあると思います。唐津焼は楽焼・萩焼と並ぶ『日本三大茶陶器』のひとつとして第一級の茶道具と評価されています。佐賀県北西部に3つの焼き物とも集中していますので、観光に行かれる際は非常に都合が良いです。

次に紹介させて頂くのは、佐賀インターナショナルバルーンフェスタです。毎年11月上旬に開催される日本最大のバルーン(熱気球)の国際大会で、100機を超えるバルーンが冬の空を彩ります。国際大会ということからも分かるように、バルーンは競技として行われます。競技内容については詳しくはここでは触れませんが、競技自体は朝と夕方のみ行われるため、昼間は競技に参加しないユーモラスなバルーンが目を楽しませてくれます。

最後に紹介させて頂くのは、私の一押しの方々のフェスのガタリンピックです。毎年5月下旬頃に開催される干潟の上のオリンピックとして世界的(?)にも有名になりつつあります。日本一干満差がある有明海を利用して、泥だらけになりながら様々な競技を行います。付近にホームステイし、この競技に参加する海外の方もいらっしゃいます。日々の生活に疲れ、童心に戻りたいと思っていられる方々には非常にお勧めです。ちなみに付近には、日本三大稲荷の祐徳稲荷神社もございます。

まだまだ紹介しきれないほど、魅力溢れる行事や物産がある佐賀県ですが、すべてを語りだすとこの速報が私の文字で埋まってしまうので、興味を持った方はぜひ一度いらっしやっして下さい。きっと佐賀に住みたくなりますよ。

### 平成20年6月分行事予定表

19	木	第3回常務理事会	広臨技事務所	18:00~19:00
19	木	呉地区微生物研修会	呉共済病院 南2 第1会議室	18:30~20:00
21	土	生理検査部門研修会	県立広島病院 中央棟2階	14:00~16:00
21	土	第2回血液形態セミナー 白血病の形態所見による判別方法 -WHO分類を中心に-	サンルートホテル広島 楓の間	15:00~18:00
21	土	感染制御部門研修会	広島鉄道病院 2階 大会議室	14:30~17:00
22	日	尿沈渣講習会 標本作成から基本的成分の鏡検と解説	広島大学病院 保健学科	13:00~17:00
26	木	呉地区研修会	済生会呉病院	18:30~20:00
28	土	第2回理事会・第4回常務理事会 平成19年度広臨技表彰式 平成20年度第1回定期総会	広島県立生涯学習センター 4階 視聴覚室	13:00~14:30 15:00~15:20 15:30~16:30

※ 平成20年6月の行事予定詳細は別紙、広臨技行事予定表でご確認下さい。